

■After 建築名称 下段: 英語名	千鳥文化 Chidori Bunka		TOTO通信		
建築用途	大分類 商業、集会、展示、事務所	小分類 飲食店、物販店、オフィス、展示場			
設計者	ドットアーキテクト		ドットアーキテクト		
所在地	大阪府大阪市住之江区北加賀屋5-2-28		Google Map		
改修年	1期:2017年、2期:2019年 以降も改修は続けられている	元建築の竣工年			
建築規模 構造・階数・面積	地上2階建、延床面積:573.48㎡		After 外観:大きく開かれたアトリウムが建物の切り口の様に見える。		
掲載書誌	TOTO通信 2024年春号、新建築2018年4月号、新建築2021年8月号、新建築2025年9月号		After		
賞・選定	小嶋一浩賞(ドットアーキテクト)		撮影者提供者 桐原武志 2026年撮影		
主な関連法規、条例、助成金等 関連組織等	千島土地株式会社		概要 after 場当たりの増改築や道路に面して小さな店舗が並ぶ風景も北加賀屋の来歴として継承し、クリエイターや地域の人々の交流の場にリノベーションされている。		
資料等	平面図	資料のURL			
■Before 建築名称	千鳥文化住宅		概要 before 造船業の従業者のために建てられた1階が労働者向けの飲食店、2階がアパート。場当たりの増改築が繰り返されていた。		
建築用途	大分類 住居、商業	小分類 飲食店、アパート			
■写真 Before	リノベーション前の外観 	After エントランスとしてのアトリウム。吹抜けの木造軸組みが来歴を物語っている。 	After 2階床を撤去して吹抜けとしたホール。集会や展示に活用されている。 		
撮影者提供者 Google ストリートビューより 2015年撮影	撮影者提供者 桐原武志 2026年撮影	撮影者提供者 桐原武志 2026年撮影			
■関連タグ/リノベーションキーワード	用途変更、痕跡、補強、アート、地域に開く				
■リノベーション内容	かつて大阪市住之江区の北加賀屋は造船業の街として栄え、そこで働く労働者向けの飲食店と住居として「千鳥文化住宅」が建てられ、増改築がくりかえされた。その後造船業が北加賀屋から撤退するに伴い、一帯の土地を所有する千島土地が中心となり「北加賀屋クリエイティブ・ビレッジ構想」が生まれ、「ものづくりのまち」から「アート」のまちへと変貌が始まった。 「千鳥文化住宅」もドットアーキテクトが中心となりクリエイターや地域交流を育む「千鳥文化」へとリノベーションが始まった。場当たりに増改築された既存躯体の実測調査をする中で、ドットアーキテクトは当時の資材の継ぎ接ぎや、大工のイレギュラーな施工の面白さに触れ、歴史的な価値がある文化財のような建物を残す理由は無いが、北加賀屋の来歴を継承する意義を感じ可能な限り残しながら現在のニーズに合わせて生き生きと活用出来るリノベーションが行われている。文化財だから残すのではなく、文化財でなくても庶民の暮らしの積層を現在に活かす視点が千鳥文化にはあふれている。さらにドットアーキテクトは千鳥文化の初期の運営に関り、在来の新築建物で見られる竣工した時点で建築家の業務が終了するのではなく、建物の継承に関わっていく建築家の新たな職能が実践されていた。				
■備考					
■作成者 氏名/所属	桐原武志 Free/JIA再生部会	作成協力者 千島土地株式会社	整理番号 No 247		